

サンティカ 火災詳細 - 西日本防災システム

タイの首都バンコク中心部のエカマイ地区にある高級ナイトクラブ**サンティカ**で2009年1月1日午前0時半頃、新年を祝うショーの最中に火災が発生し、60人以上が亡くなり、200人を超える人が負傷した火災です。この内、日本人の男性4人が負傷しました。

このナイトクラブは地下1階、地上2階建てで、目撃者によりますと、火災は新年のカウントダウンを行うショーが終わった後に1階ステージ付近の天井から発生し、短時間に燃え広がったそうです。警察は店か、客が持ち込んだ花火が引火した可能性もあるとしていました。店内は当時、**1000**人を越える大勢の客で混雑していたようです。

軽傷を負った日本人とともに現場に居合わせたタイ人女性は「天井が燃えているのが分かり、すぐ出口に向かったが、客が殺到して手や足にけがをした。パニック状態だった」と話していたそうです。警察などの調べでは、客に認識できる出口が**1カ所**しかなく、遺体で発見された多くの客は煙に巻かれるか、他の客らの下敷きになって圧死したようです。このクラブがあったエカマイ地区は日本人も多く居住している高級住宅・商業地区で、サンティカには多くの外国人客が訪れていました。



西日本防災システム
NISHINIHON BOHSAI SYSTEM Co., Ltd

<http://www.nbs119.co.jp/>



弊社top pageへ 